

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	総合的な学習の時間「学校をよりよくしよう」
学年	小学校第6学年
目標	<ul style="list-style-type: none">・よりよい学校生活のためにコンピュータが活用できることや、意図した働きをさせるためのプログラムには手順を論理的に組み立てることが必要だと理解することができる。(知識・技能)・学校生活での問題を見つけ、利用者の立場に立ち情報を整理することで課題を設定し、試行錯誤しながら課題解決のためのよりよいプログラムをつくることができる。(思考力・判断力・表現力)・利用者のためのプログラムについて、仕組みや利点、使用上の注意点などをわかりやすく工夫して伝えることができる。(思考力・判断力・表現力)・チームで協力・共同して利用者のためのプログラムを工夫して創造することができる。(学びに向かう力・人間性等)・学校をよりよくするロボットの開発を通して、生活上の他の課題解決にコンピュータを生かすことができないか考えることができる。(学びに向かう力・人間性等)
教材タイプ	ビジュアル言語・タンジブル
使用教材	LEGO WeDo2.0
環境	児童4人で1台の端末・教材を使用
都道府県	兵庫県
実施校	多可町立中町南小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>①よりよい学校にするための問題を見つけ、チームごとに課題を設定する。</p> <p>②設定した課題を解決できるようプログラムの流れを言葉やフローチャートを活用して考える。また、課題解決に必要な情報を収集・整理・分析する。</p> <p>③プログラミングする。また、プログラミングしたロボットを異学年や教師を対象にテストして改善のための課題を発見する。</p> <p>④テストと改善を繰り返してロボットをよりよくする。</p> <ul style="list-style-type: none">・よりよくする過程で、プログラムだけでなく、ロボットの補助具や説明書きなどを手作業で作成しているチームもあった。 <p>⑤学習のまとめとしてロボットについてプレゼンテーションを行い、学習をふり返る。</p>
成果と課題	目標に記載しているようなことを、実際の問題に対する課題解決のためのプログラミング体験を通して学ぶことができた。

